

# 買い物環境実態アンケート調査結果報告書

平成 27 年 3 月  
笠 間 市

# 買い物環境実態アンケート調査結果報告書 目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査目的	
(2) 対象地域	
(3) 調査対象	
(4) 調査方法	
(5) 調査期間	
(6) 回収結果	
(7) アンケート概要	
(8) 報告書についての留意事項	
2. 調査対象者の属性	2
(1) 男女・年齢別の回収状況	
(2) 地域別の回収状況	
(3) 家族構成別の回収状況	
3. 買い物行動の実態	4
(1) 買い物場所への移動手段	
(2) 買い物場所までの移動時間	
(3) 買い物をする店の形態	
(4) 買い物をする時期（曜日）	
(5) 買い物をする時間帯	
(6) 買い物をする人	
4. 買い物の利便度	8
(1) 買い物の利便度	
(2) 買い物不便感の原因	
(3) 買い物不便感の解決策	
(4) 宅配サービスの関心度	
(5) 宅配サービスの利用時間	
(6) 宅配サービスの手数料	
(7) 宅配サービスの不安要素	
(8) 移動販売車の関心度	
(9) 御用聞き制度の関心度	
5. 買い物環境向上対策	13
(1) 買い物サービス	
(2) 買い物環境向上対策	
6. アンケート	15

## 1. 調査の概要

### (1) 調査目的

近年、少子高齢化やモータリゼーション化が進み、商店会の衰退や店舗の廃業等の影響により身近な場所の買い物環境が変化しています。

また、高齢のために自動車が運転できない、移動手段が徒歩に限定されるなどの理由から、日常の買い物に困難が生じる方が増加しています。

こうしたことから、高齢者を取り巻く買い物環境の実態を調査・把握し、問題解決に向けた対策を検討するための基礎資料とすることを目的とします。

(2) 対象地域 笠間市全域

(3) 調査対象 笠間市に在住する65歳以上の高齢者で構成する世帯  
※ 福祉施設等に入所している方を除きます。

(4) 調査方法 郵送による無記名回答方式

(5) 調査期間 平成26年10月1日～10月31日  
※ 締切り以降に回収した調査票も集計に反映しました。

(6) 回収結果

配布数	3,864 世帯
回答数	2,214 世帯
回収率	57.3%

(7) アンケート概要

- ① 調査対象者の属性に関する質問
- ② 買い物の移動手段、場所、頻度等に関する質問
- ③ 買い物の利便度に関する質問
- ④ 買い物サービスに関する質問
- ⑤ 買い物サービスの見識に関する質問
- ⑥ 買い物環境向上のために求めるサービスに関する質問

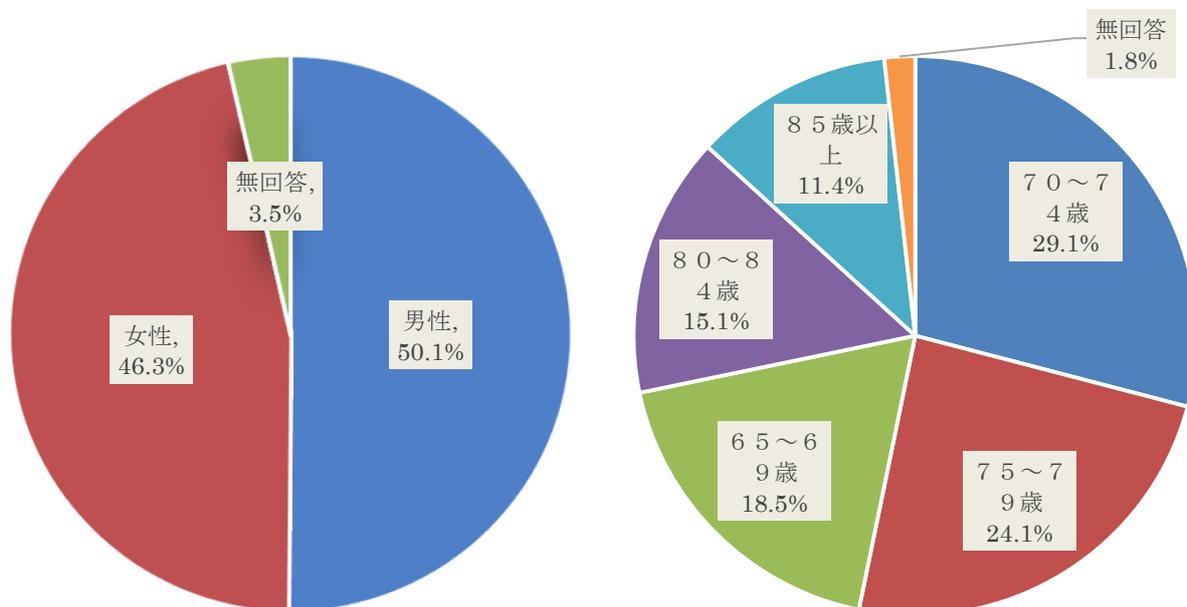
### (8) 報告書についての留意事項

- ① 集計は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位の表示をしているため、比率合計が100%にならない場合があります。
- ② 文中の選択肢の表記は「            」としています。
- ③ 表・グラフ・文中に示す選択肢はスペースの関係上、文言を短縮標記している場合があります。
- ④ 数表、図表に示す“n”は、アンケートの有効回答数を表しています。
- ⑤ 自由意見については、分かりやすくするため修正や類似する意見の集約はありますが、原文の趣旨を変更するような編集は行っていません。
- ⑥ 報告書の体裁を整えるため、アンケート回答と順番が異なる場合があります。

## 2. 調査対象者の属性

### (1) 男女・年齢別の回収状況

男女・年齢層別のグラフは、下記のとおりとなっています。



65歳以上を5歳ごとに区分した年齢層別では、「70～74歳」が最も多く29.1%、次いで「75～79歳」が24.1%となっており、70歳代が50%を超えています。

### (2) 地域別の回収状況

地域別の回収状況は、下記のとおりとなっています。

笠間地区	対象世帯数	回収数	回収率
笠間	449	225	50.11
石井	145	71	48.97
赤坂	10	5	50.00
下市毛	131	72	54.96
日草場	6	2	33.33
大橋	32	18	56.25
池野辺	38	15	39.47
福田	15	4	26.67
飯田	7	3	42.86
大郷戸	16	8	50.00
片庭	23	7	30.43
箱田	54	29	53.70
寺崎	36	13	36.11

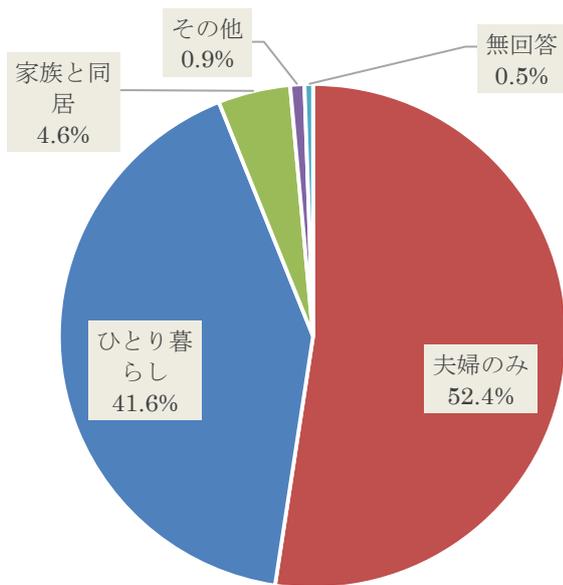
笠間地区	対象世帯数	回収数	回収率
日沢	9	4	44.44
石寺	7	2	28.57
金井	14	2	14.29
大淵	14	6	42.86
本戸	56	30	53.57
来栖	49	20	40.82
北吉原	4	1	25.00
南吉原	14	6	42.86
手越	13	5	38.46
上加賀田	18	8	44.44
飯合	13	4	30.77
稲田	181	81	44.75
福原	105	58	55.24

友部地区	対象世帯数	回収数	回収率
平町	160	95	59.38
大田町	168	95	56.55
橋爪	35	16	45.71
矢野下	32	15	46.88
大古山	13	6	46.15
南小泉	22	12	54.55
下加賀田	4	2	50.00
南友部	80	44	55.00
鴻巣	60	28	46.67
旭町	271	159	58.67
鯉渕	238	136	57.14
五平	3	1	33.33
湯崎	18	10	55.56
住吉	76	44	57.89
随分附	11	5	45.45
柏井	12	4	33.33
仁古田	13	5	38.46
長兔路	21	6	28.57
下市原	9	4	44.44
中市原	12	3	25.00
上市原	19	12	63.16
小原	74	38	51.35
友部駅前	28	14	50.00
八雲	52	27	51.92
中央	67	31	46.27
東平	122	66	54.10
美原	70	48	68.57

岩間地区	対象世帯数	回収数	回収率
下郷	318	156	49.06
上郷	41	14	34.15
泉	81	43	53.09
市野谷	73	33	45.21
福島	3	2	66.67
吉岡	88	41	46.59
土師	30	11	36.67
押辺	44	19	43.18
安居	37	17	45.95
無回答	-	253	-

### (3) 家族構成別の回収状況

家族構成別の表とグラフは、下記のとおりとなっています。

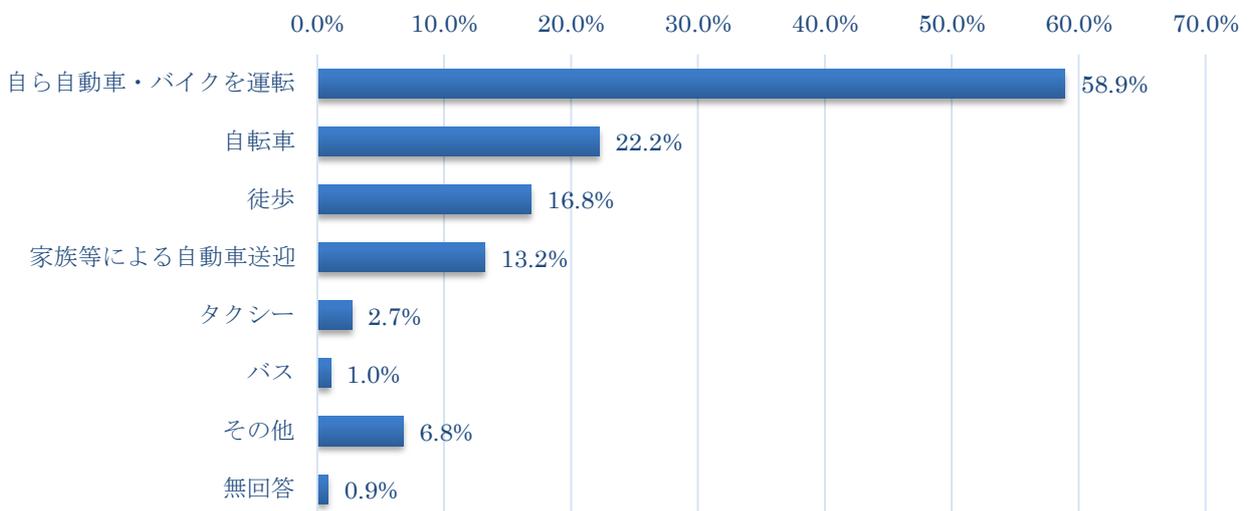


「夫婦のみ」が最も多く52.4%、次いで「ひとり暮らし」が41.6%となっています。今後、「ひとり暮らし」の件数、割合が高まることが予想されます。

## 3. 買い物行動の実態

### (1) 買い物場所への移動手段

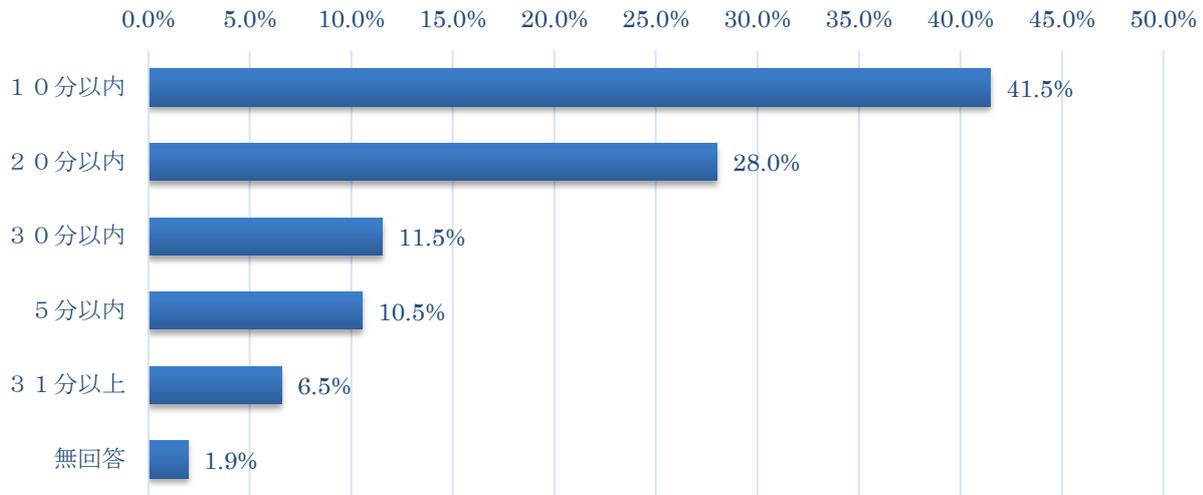
「よく買い物に利用する店」への移動手段の状況は、下記のとおりとなっています。



「自ら自動車・バイクを運転」が最も多く58.9%、「徒歩」が16.8%と数字に大きな差がみられます。このことから、近隣に買い物に利用するお店があまりなく、自動車やバイクを運転して買い物にでかける傾向を示しています。「タクシー」や「その他」にはデマンドタクシーが含まれており、一定の役割を果たしていることがうかがえます。

## (2) 買い物場所までの移動時間

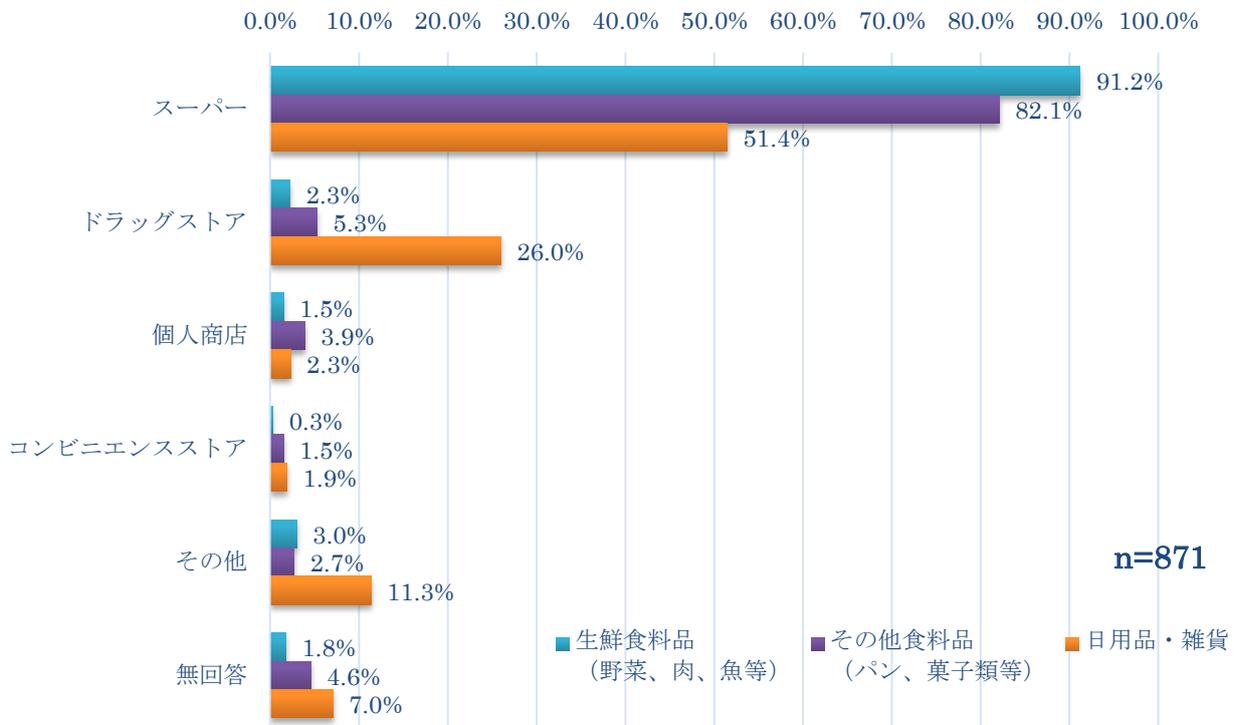
「よく買い物に利用する店」までの移動時間の状況は、下記のとおりとなっています。



「10分以内」が最も多く41.5%となっています。次いで「20分以内」が28%となっていますが、移動手段が「自動車・バイク」であれば相当な距離です。また、買い物をした荷物を持って徒歩で移動する時間と考えると、不便を感じるのではないかと推察します。

## (3) 買い物をする店の形態

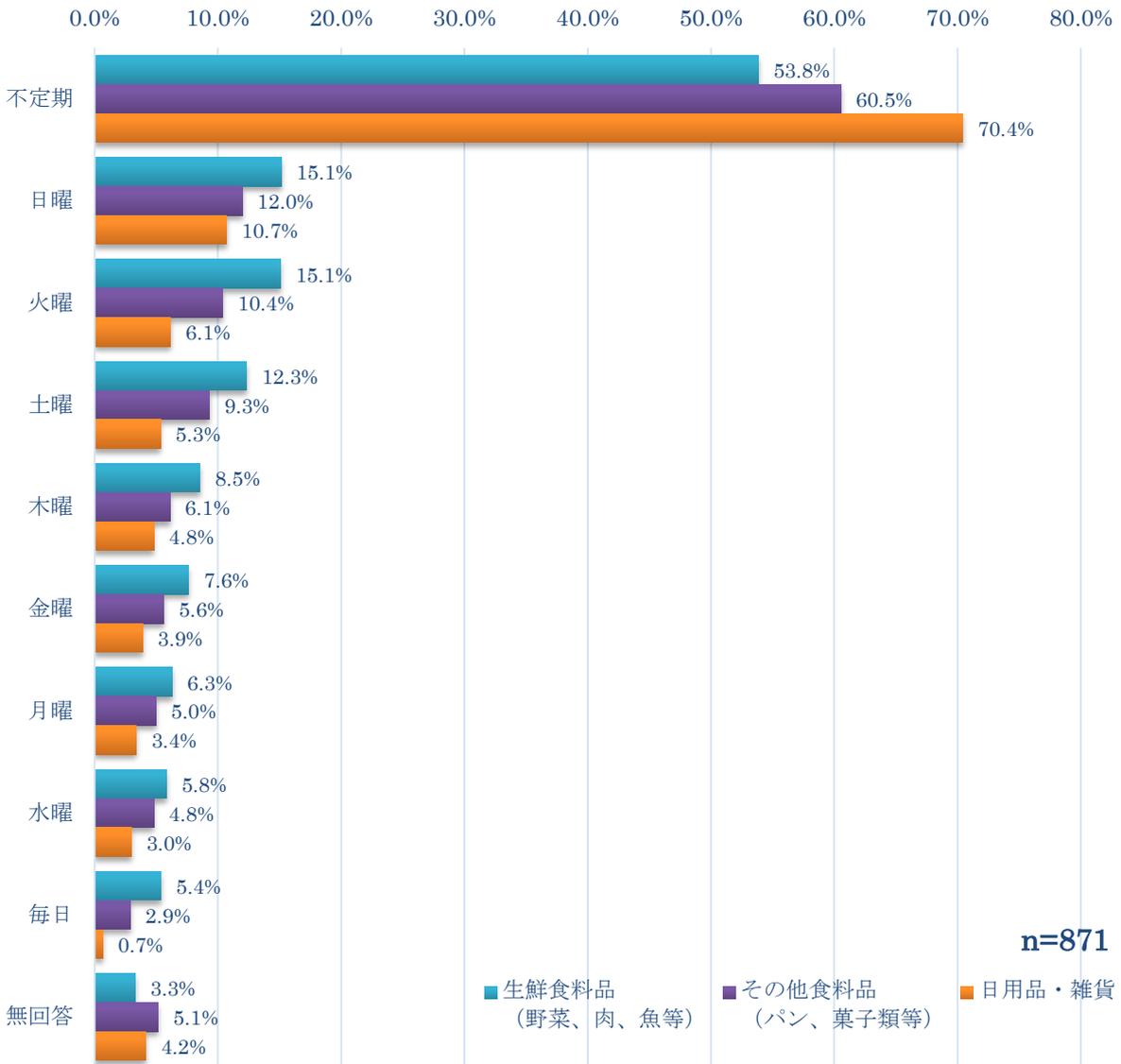
「よく買い物に利用する店」の形態の状況は、下記のとおりとなっています。



「生鮮食料品」や「その他食料品」は「スーパー」が80%を超え、圧倒的に高い割合となっています。また「日用品・雑貨」では、「ドラッグストア」の利用も目立ちます。「その他」と回答した方の中ではホームセンターが多く利用されていると考えられます。

#### (4) 買い物をする時期（曜日）

買い物をする時期（曜日）の状況は、下記のとおりとなっています。

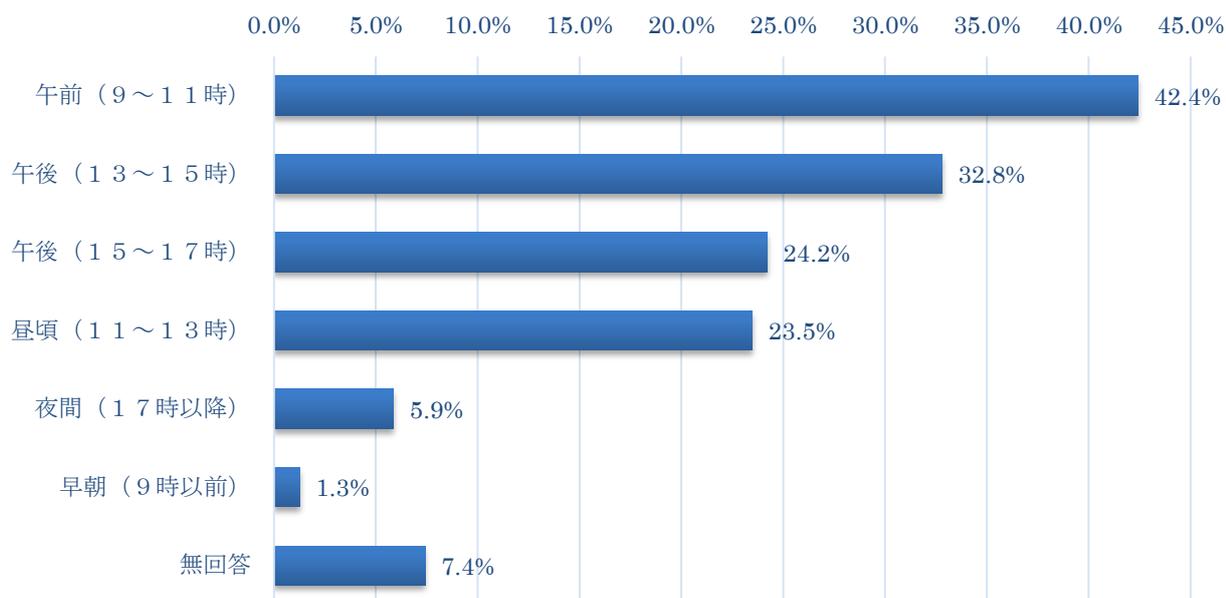


「生鮮食料品」、「その他食料品」、「日用品・雑貨」のすべてで「不定期」が最も多くなっています。曜日別で「日曜」、「火曜」が多い傾向にあるのは、特定のスーパーの特売日に指定されていることにあると考えられます。



### (5) 買い物をする時間帯

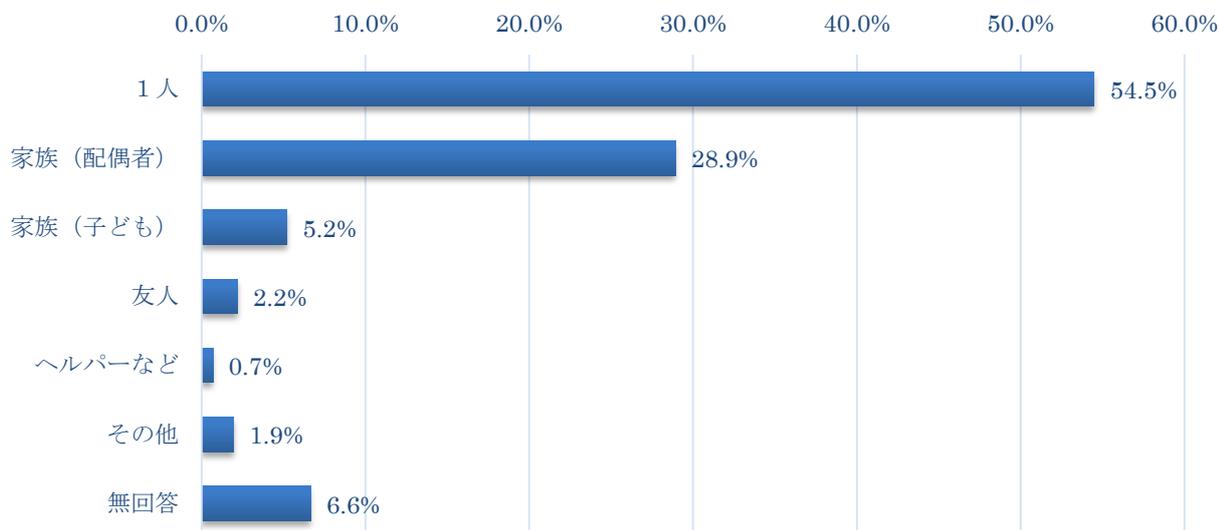
買い物をする時間帯の状況は、下記のとおりとなっています。



「午前 (9～11時)」が42.4%、次いで「午後 (13～15時)」が32.8%となっています。「夜間 (17時以降)」、「早朝 (9時以前)」は5%以下の低い比率となっています。

### (6) 買い物をする人

買い物をする人の状況は、下記のとおりとなっています。

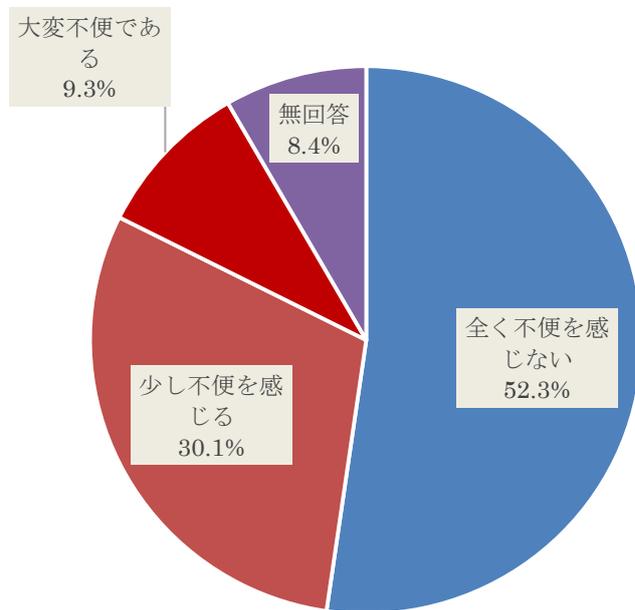


「1人」が54.5%、「家族 (配偶者)」が28.9%となっています。「家族構成別の回収状況」の結果からすると、当然の結果と考えられます。

## 4. 買い物の利便度

### (1) 買い物の利便度

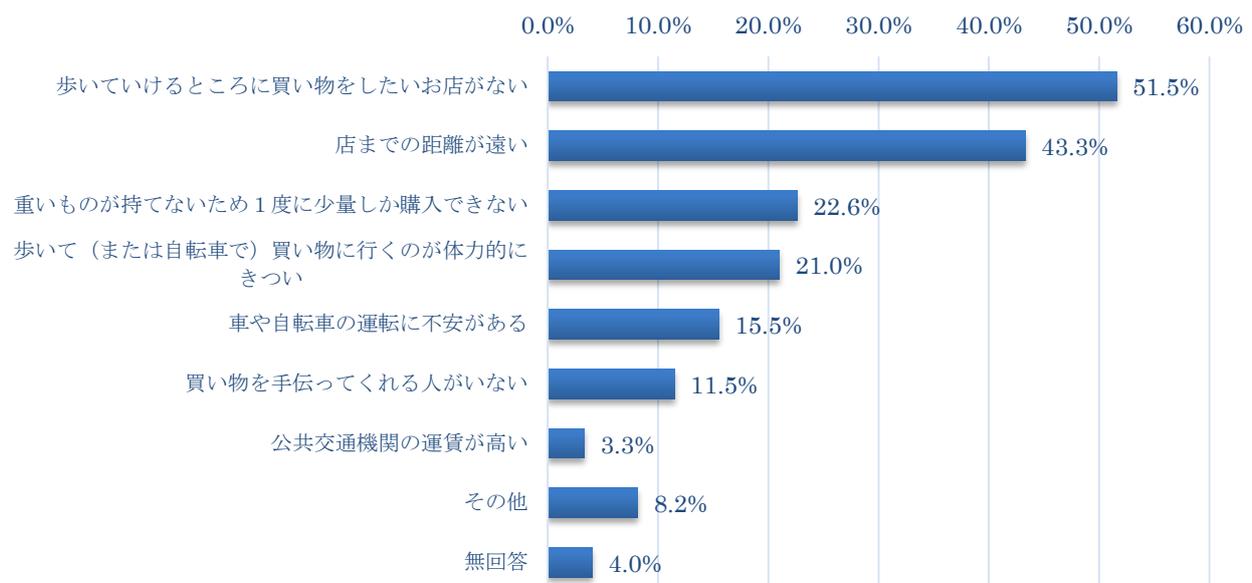
買い物の利便度の状況は、下記のとおりとなっています。



「全く不便を感じない」が52.3%である一方で、「少し不便を感じる」、「大変不便である」を合わせた割合が約40%となっています。買い物環境を判断するには、複合的な条件での分析が必要です。

### (2) 買い物不便感の原因

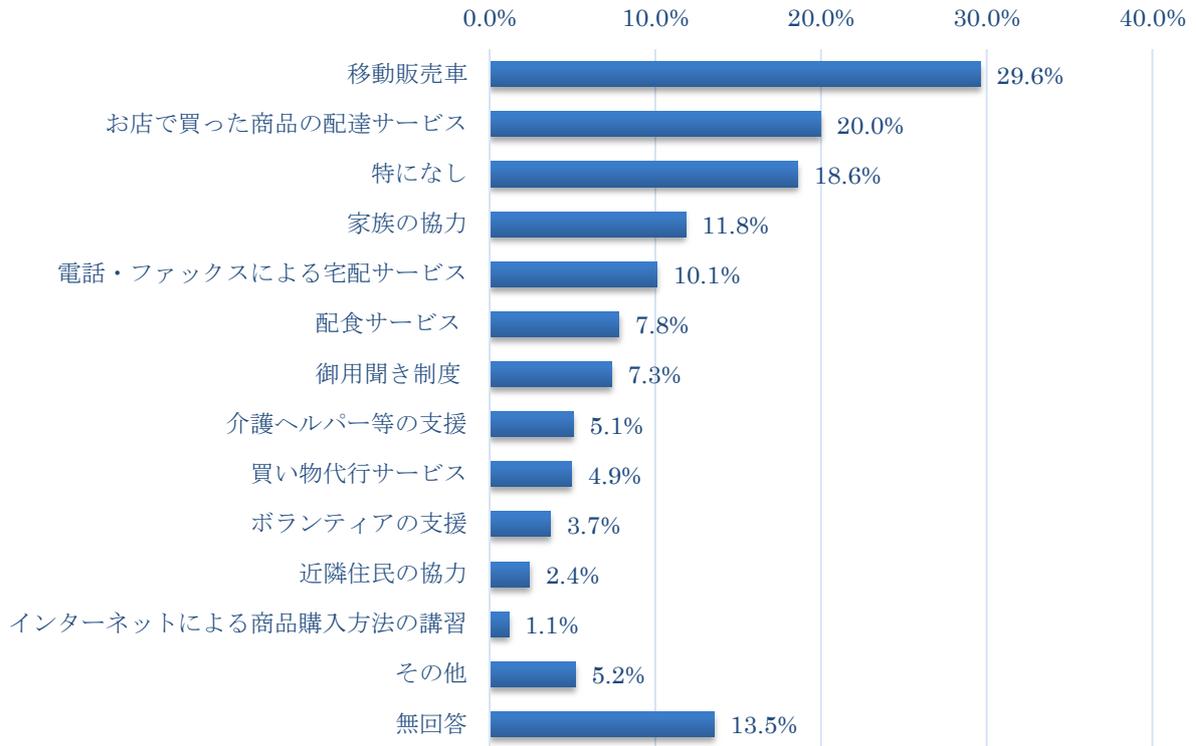
買い物不便感の状況は、下記のとおりとなっています。



「歩いていけるとところに買い物したいお店がない」が51.5%、「店までの距離が遠い」が43.3%となっています。身近な場所に買い物をしたいお店がないこと、体力的に買い物に困難が伴うことが主な原因となっています。

### (3) 買い物不便感の解決策

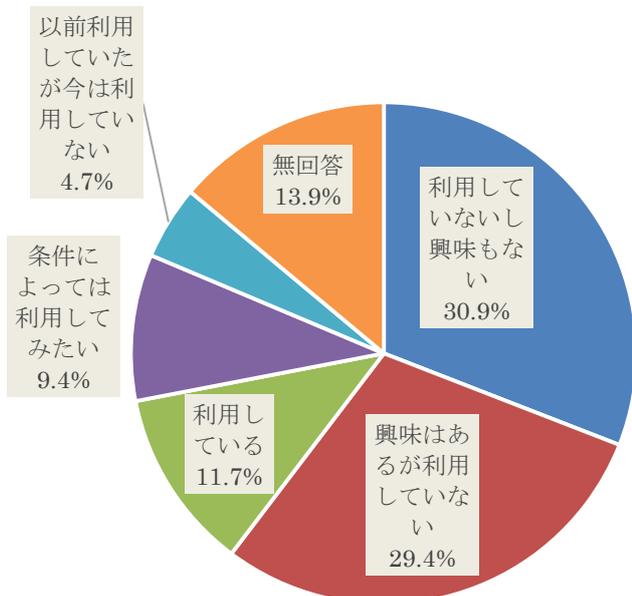
買い物不便感の解決策は、下記のとおりとなっています。



「移動販売車（引き売り）」が29.6%と最も多く、次いで「お店で買った商品の配達サービス」が20.0%となっています。「買い物不便感の原因」を解決するための対策がそのまま求められる結果となっています。

### (4) 宅配サービスの関心度

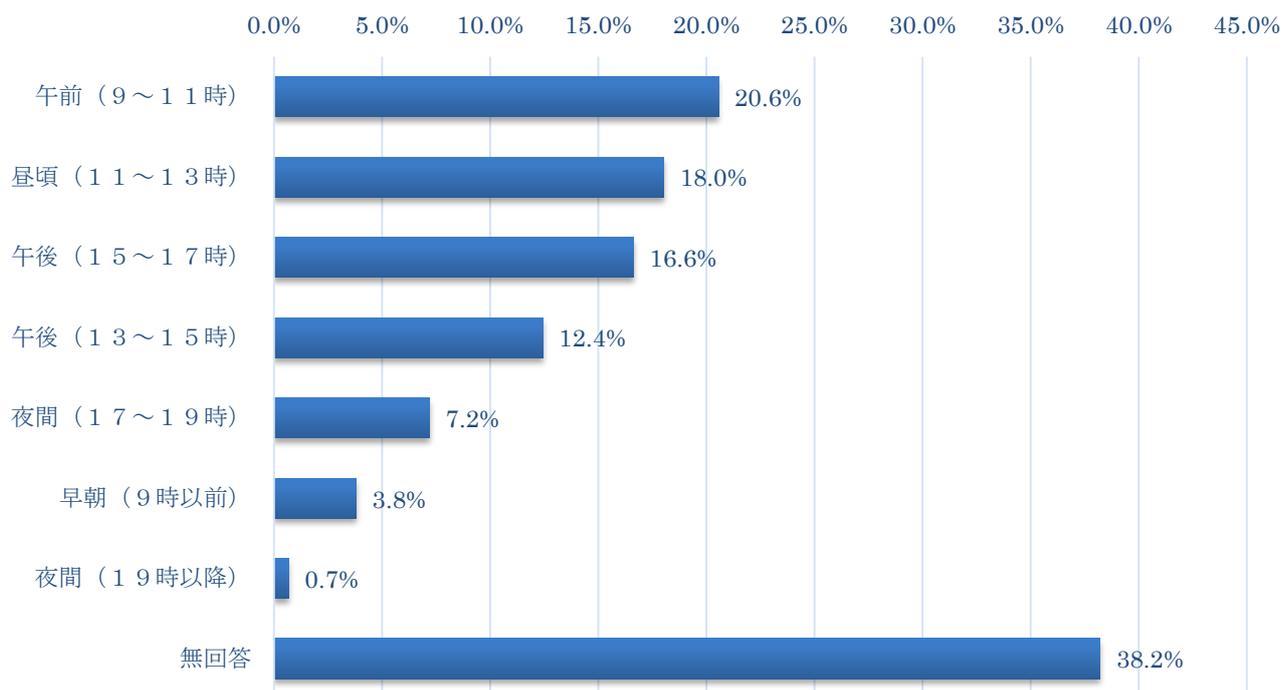
宅配サービスの関心度の状況は、下記のとおりとなっています。



「利用していないし興味もない」が30.9%、次いで「興味はあるが利用していない」29.4%、「利用している」11.7%となっています。

## (5) 宅配サービスの利用時間

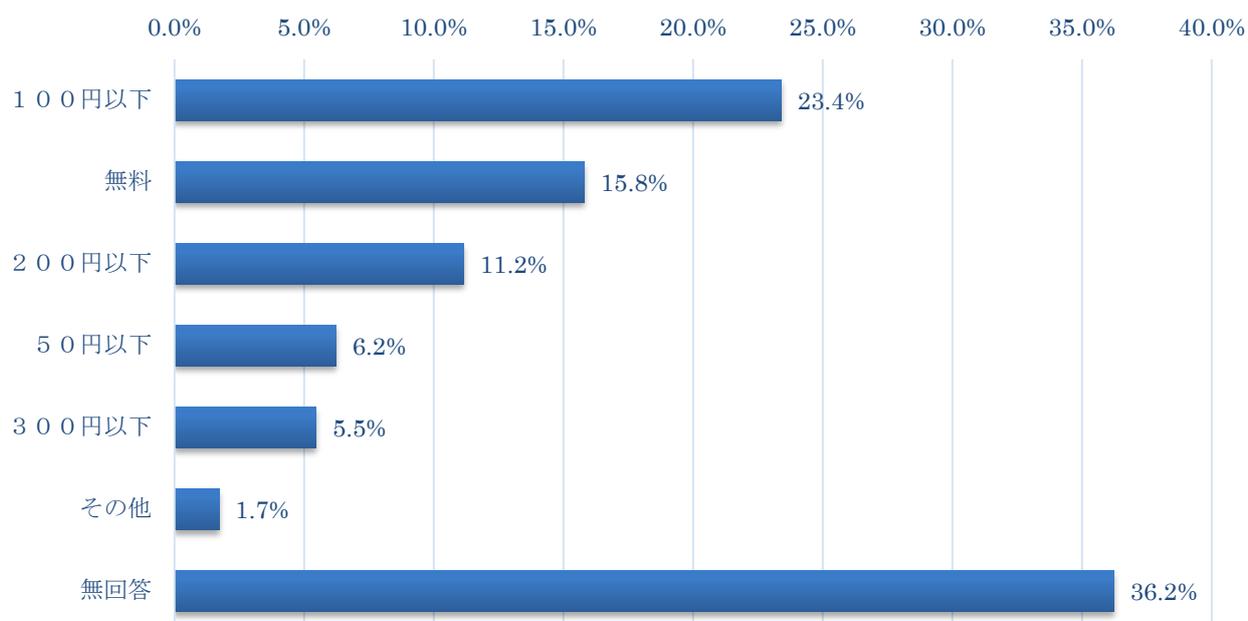
宅配サービスの利用時間の状況は、下記のとおりとなっています。



「午前 (9~11時)」が最も多く 20.6% となっており、次いで「昼頃 (11時~13時)」が 18.0%、「午後 (15~17時)」16.6%と続いています。日常の買い物時間と同様に早朝、夜間は少ない状況になっています。

## (6) 宅配サービスの手数料

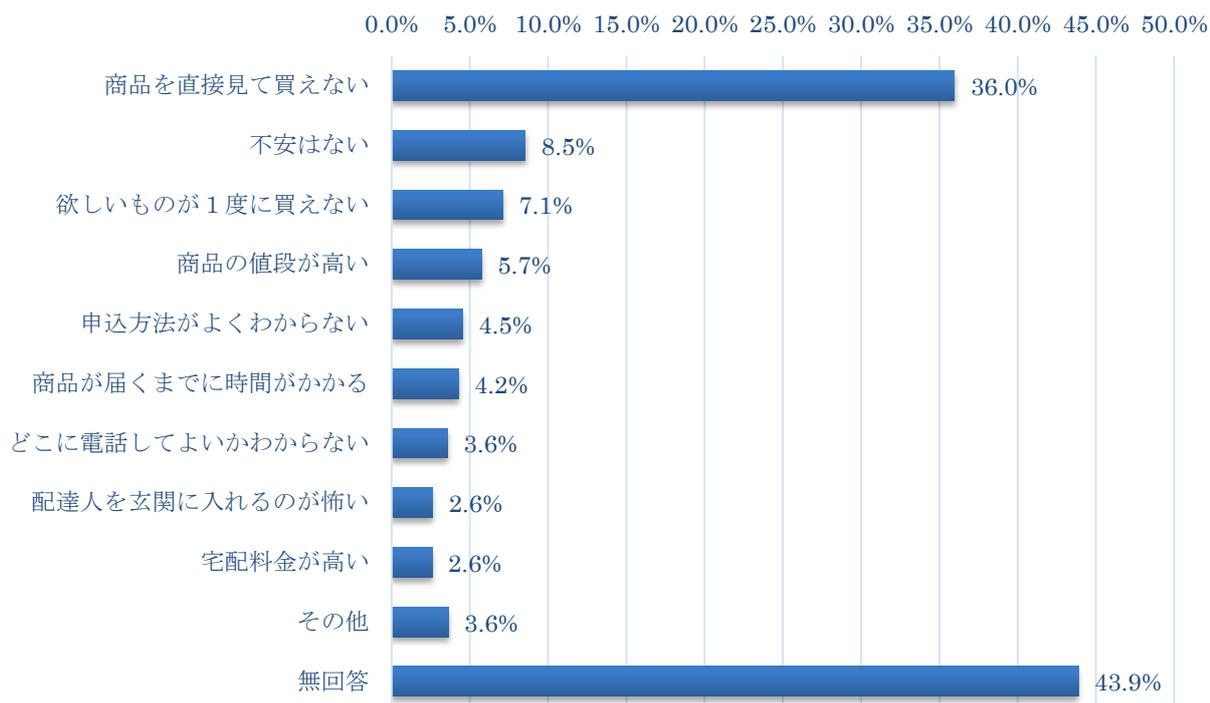
宅配サービス手数料の状況は、下記のとおりとなっています。



「100円以下」が最も多く 23.4%、「200円以下」が 11.2%、「50円以下」が 6.2% となっています。他の選択肢との割合差を考慮すると、100円が目安と考えられます。

## (7) 宅配サービスの不安要素

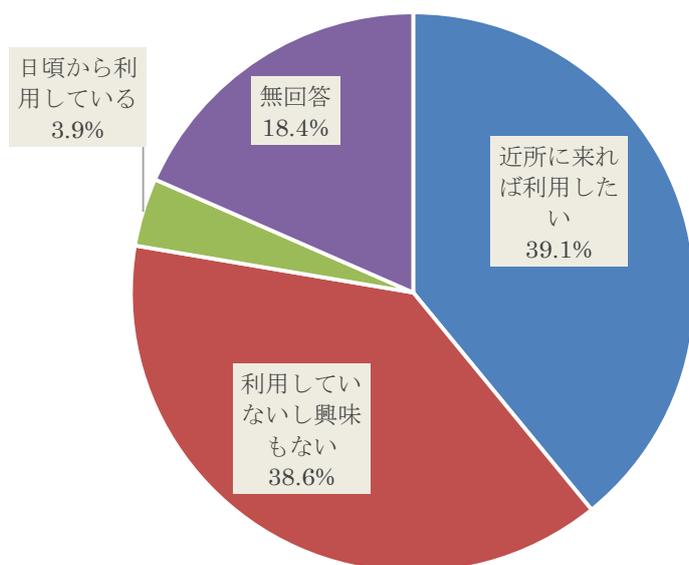
宅配サービスの不安要素の状況は、下記のとおりとなっています。



「商品を見て買えない」が断然多く36.0%、他の要素は「欲しいものが1度に見えない」7.1%など、10%以下となっております。実際に商品を手にとらず購入することに不安を感じていることがうかがえます。

## (8) 移動販売車の関心度

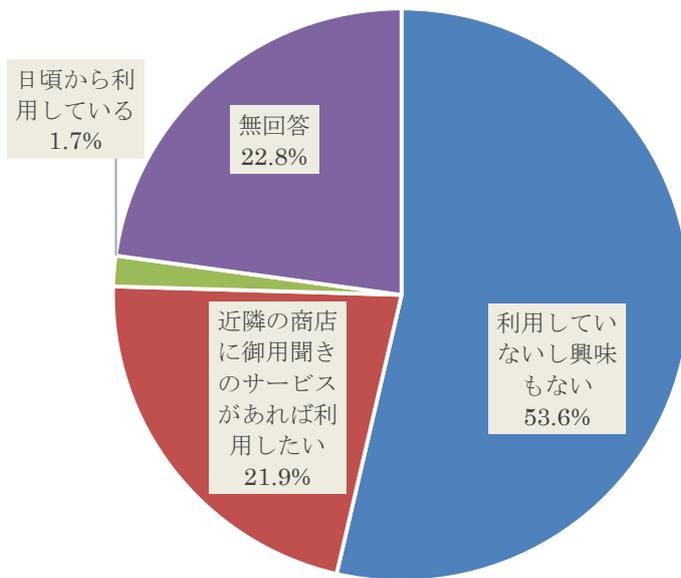
移動販売車の関心度の状況は、下記のとおりとなっています。



「近所に来れば利用したい」が、39.1%となっており「日頃から利用している」3.9%を合わせると40%を超える割合となっています。

### (9) 御用聞き制度の関心度

御用聞き制度の関心度の状況は、下記のとおりとなっています。



「利用していないし興味がない」が53.6%、「近隣の商店に御用聞きがあれば利用したい」が21.9%となっています。

「買い物サービス」に関する一連の質問から、「宅配サービス」、「移動販売車」、「御用聞き制度」の中では「宅配サービス」の利用者が11.7%と最も多く、利用していない方でも約40%が関心を持っていることが分かりました。

しかしながら、「宅配サービス」は「商品を直接見て買えない」ことに不安があるという回答結果となっており、そのために利用を控えている方も多いことが推察されます。

一方、「移動販売車」では、「近くに来れば利用したい」と考えている方が「宅配サービス」と同じ程度であるにもかかわらず、実際に「日ごろから利用している」方は約4%にとどまっています。

これらを踏まえると、「移動販売車」の運行エリアを充実させることが高齢者の買い物環境を改善するための実効性ある対策と考えられます。

## 5. 買い物環境向上対策

### (1) 買い物サービス

利用している、または知っている「買い物サービス」についての自由意見は、以下のとおりとなっています。

- ・生活協同組合の宅配、配食サービス
- ・イオンの宅配サービス、ネットスーパー
- ・セブンイレブンの宅配・配食サービス
- ・ヨシケイの宅配サービス
- ・ワタミの配食サービス
- ・カワチ薬品の配達サービス
- ・ジョイフル山新の配達サービス
- ・インターネットショッピング
- ・テレビショッピング

その他に、スーパーの特定日（曜日）割引販売やポイントサービス、ホームセンターの軽トラック貸出サービスなどの意見がありました。生活協同組合の宅配サービスに関する意見が多く、利用者が多いことがうかがわれます。

### (2) 買い物環境向上対策

買い物環境向上対策についての自由意見は、以下のとおりとなっています。

#### ① 買い物環境に関する意見

- ・近くにスーパーがあれば便利である。
- ・中心部にスーパーがなくて不便である。
- ・岩間地区にはスーパーが少ない。
- ・駅周辺にスーパーやコンビニがないので、不便である。
- ・身近な場所にコンビニがほしい。
- ・各地区に万遍なくコンビニがあればよい。
- ・近隣にドラッグストアがあればよい。
- ・岩間地区にはドラッグストアがないので、不便である。
- ・岩間駅西側はドラッグストアもなく、不便である。
- ・岩間地区に生活雑貨店が少ない。
- ・友部駅前に商店を作してほしい。
- ・友部駅北地区の市街化を早急に進めてほしい。
- ・自転車で行ける範囲に直売所がほしい。
- ・高齢者が利用しやすい農産物直売所を増やしてほしい。
- ・八百屋と魚屋の共同店舗があるとよい。
- ・近くに家電量販店がほしい。
- ・個人商店では種々の商品が揃わないので、スーパーを使ってしまう。
- ・個人商店はスーパーに比べて割高である。
- ・個人商店は閉店時間が早いため、利用できないことがある。
- ・個人商店の後継者がなく、消滅するのは寂しい。
- ・生ものは少量パックで販売してほしい。

- ・高齢者向けの小品目（食品）があるとよい。
- ・おひとり様向けの商品が多くなっているのも、便利である。

## ② 買い物サービスに関する意見

- ・会話のある買い物がしたい。
- ・高齢者は商品を見て買うのが楽しみなので、移動販売があるとよい。
- ・かつての移動販売がなくなってしまい、不便を感じている。
- ・ネット販売や移動販売での取扱商品は、できるかぎり幅広く扱ってほしい。
- ・ファックスや電話注文による宅配サービスがあるとよい。
- ・パソコンは使えないので、電話による宅配サービスがあるとよい。
- ・宅配サービスをする個人商店は、高齢者にとって欠かせない。
- ・配食サービスがあればよい。
- ・御用聞きサービスがあるとよい。
- ・出張して食事を作ってくれるサービスがあるとよい。
- ・付き添いなどの買い物を補佐するサービスがあるとよい。

## ③ 買い物の移動に関する意見

- ・公共交通が十分に機能していない。
- ・循環バスを復活してほしい。
- ・市役所、駅、病院、スーパーを巡回するバスがあるとよい。
- ・定期的な買い物乗合バスがあるとよい。
- ・スーパーによる送迎サービスを希望する。
- ・友部駅と内原イオンを結ぶバス便があるとよい。
- ・松山団地付近に観光周遊バスの停留所を作してほしい。
- ・バスがなくなる中、デマンドタクシーだけでは不十分である。
- ・デマンドタクシーを土・日、祝日も運行してほしい。
- ・デマンドタクシーが午後5時ごろまで運行されるとよい。
- ・デマンドタクシーで乗り継ぎの場合、割引サービスをしてほしい。
- ・徒歩での買い物では重いものを買うと体力的につらい。
- ・道路に危険箇所があるので、改良してほしい。
- ・狭い道路が多く、高齢者には大変である。

## ④ その他

- ・現在は車を運転できるので不安はないが、今後移動販売は必要になる。
- ・車の運転ができなくなったら、移動販売や宅配サービスを利用したい。
- ・車に乗れなくなった際には、宅配サービスが助かると思う。

買い物環境に関する意見では、身近な場所にスーパーやコンビニ、ドラッグストアがほしいという意見が多くありました。

買い物サービスに関する意見では、商品を見て、選ぶ楽しみがある移動販売を望む声は比較的多く、歩くことに困難が伴うようになった場合には宅配サービスを利用したい、という意見がありました。

買い物の移動に関する意見では、巡回バスの運行やデマンドタクシーへの要望に関する意見がありました。

その他では、買い物に関する将来的な不安の意見が顕著であったことから、調査結果を参考に買い物弱者対策の具体化に向けて検討いたします。



質問. 8 買い物に行くときの時間帯について、2つ以内を選んで○をつけてください。

1. 早朝(9時以前)
2. 午前(9～11時)
3. 昼頃(11～13時)
4. 午後(13～15時)
5. 午後(15～17時)
6. 夜間(17時以降)

質問. 9 あなたが買い物に行くとき、主に誰と行きますか。最もあてはまるものを1つを選んで○をつけてください。

1. 1人
2. 家族(配偶者)
3. 家族(子ども)
4. ヘルパーなど
5. 友人
6. その他( )

質問. 10 あなたのご家庭において買い物の際に不便を感じることはありますか。1つを選んで○をつけてください。

1. 大変不便である
2. 少し不便を感じる
3. 全く不便を感じない【質問. 13へ】

質問. 11 質問. 10で回答した不便を感じることは、どのようなことですか。あてはまるものに○をつけてください。  
(複数選択可。「3. 全く不便を感じない」を選択した場合、回答不要)

1. 店までの距離が遠い
2. 歩いていけるところに買い物をしたいお店がない
3. 歩いて(または自転車で)買い物に行くのが体力的にきつい
4. 重いものが持てないため1度に少量しか購入できない
5. 車や自転車の運転に不安がある
6. 公共交通機関の運賃が高い
7. 買い物を手伝ってくれる人がいない
8. その他( )

質問. 12 質問. 11で回答したことをなくすために何が必要ですか。あてはまるものに○をつけてください。  
(複数選択可)

1. 電話・ファックスによる宅配サービス
2. お店で買った商品の配達サービス
3. 移動販売車(引き売り) ※1
4. 御用聞き制度 ※2
5. 買い物代行サービス
6. 配食サービス ※3
7. 介護ヘルパー等の支援
8. ボランティアの支援
9. 家族の協力
10. 近隣住民の協力
11. インターネットによる商品購入方法の講習
12. 特になし
13. その他( )

※ 1 移動販売車とは、住宅地等で食料品等の販売を行う移動スーパー等です。

※ 2 御用聞き制度とは、定期的にお客に注文を聞いて回るサービスです。

※ 3 配食サービスとは、宅配のお弁当や材料が送られてくるサービスです。



質問. 19 あなたが利用している, または知っている「買い物に関するサービス」がございましたら, 教えてください。

質問. 20 買い物環境の向上について, ご意見, ご感想などございましたら, ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき, ありがとうございます。

同封の返信用封筒に入れて, 10月31日(金)までに投函してください。

ご回答いただきました内容は, 「笠間市個人情報保護条例」に基づき適正に取り扱い, 調査目的以外に使用することはございません。

〈 担 当 〉

笠間市産業経済部商工観光課  
商工グループ 鈴木・竹江  
〒309-1792 笠間市中央3-2-1  
電話 0296-77-1101(内線 510)  
FAX 0296-77-1146